

概要版

平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震について(第97報)

平成23年4月11日(10:30)現在  
緊急災害対策本部

概 要

1 地震の概要(気象庁)

- (1) 発生日時 平成23年3月11日(金) 14時46分頃  
(2) 震源及び規模(推定)  
三陸沖(北緯38.1度、東経142.9度、牡鹿半島の東南東130km付近)  
深さ約24km、モーメントマグニチュード Mw9.0  
(3) 各地の震度(震度6弱以上)  
震度7 宮城県北部  
震度6強 宮城県南部・中部、福島県中通り・浜通り、茨城県北部・南部、  
栃木県北部・南部  
震度6弱 岩手県沿岸南部・内陸北部・内陸南部、福島県会津、群馬県南部、  
埼玉県南部、千葉県西北部

(4) 津波

3月11日14時49分 津波警報(大津波)を発表 ※現在は津波注意報も解除  
津波の観測地(接潮所)

・えりも町鹿野	最大波	15:44	3.5m
・宮古	最大波	15:26	8.5m以上
・大船渡	最大波	15:18	8.0m以上
・釜石	最大波	16:21	4.1m以上
・石巻市鮎川	最大波	15:25	7.6m以上
・相馬	最大波	15:50	7.3m以上
・大洗	最大波	16:52	4.2m

2 政府の主な対応(初動対応)

3月11日	14:50	官邸対策室設置、緊急参集チーム招集
	15:00	緊急参集チーム協議開始
	15:14	緊急災害対策本部設置(本部長:内閣総理大臣)
	15:37	第1回緊急災害対策本部開催 「災害応急対策に関する基本方針」策定 (以後、4月10日までに合計14回開催)

3 被害状況等

(1) 人的被害		
ア 死者	13,116名	(+103名)
イ 行方不明	14,337名	(Δ271名)
ウ 負傷者	4,792名	(+108名)
(2) 建築物被害		
ア 全壊	48,747戸	(+108戸)
イ 半壊	11,010戸	(+45戸)
ウ 流失	6戸	(+0戸)
(3) 避難者	147,536名	(Δ3,579名)

※数値等に記載した増減は、前報との比較である。

4 被災者の救助活動状況

救出等総数 26,666名 (+0名)

※各機関等共同で救出活動を実施しているため重複している場合がある。

※数値等に記載した増減は、前報との比較である。

5 主要緊急物資の支援状況(到着済みの累計数)(4月11日00:00現在)

(1) 食糧等		
ア パン	8,172,705食	(+335,000食)
イ 即席めん類	2,140,016食	(+0食)
ウ おにぎり等	3,030,452食	(+120,000食)
エ 精米	3,282,236食	(+20,000食)
オ その他(缶詰等)	5,142,654食	(+103,400食)
カ 飲料水	6,761,805本	(+20,400本)
(2) 生活用品		
ア トイレットペーパー	328,480個	(+0個)
イ おむつ	269,170枚	(+0枚)
ウ 一般薬	229,284箱	(+0箱)
エ マスク	4,380,442枚	(+0枚)
(3) 燃料等	15,341,000ℓ	(+0ℓ)

※数値等に記載した増減は、前報との比較である。

6 部隊派遣等の状況

(1) 警察庁

- ア 広域緊急援助隊（活動中の人員） : 2,951名
- イ 広域緊急援助隊（これまでに派遣された総数） : 14,080名
- ウ 航空機（ヘリ）9機派遣

(2) 消防庁

- ア 緊急消防援助隊実派遣部隊（活動中の人員・隊数） :  
245隊 856人
- イ 緊急消防援助隊実派遣部隊（これまでに派遣された人員・隊数） :  
約6,700隊 約26,000人

(3) 海上保安庁

- ア 巡視船艇等 54隻
- イ 航空機 19機
- ウ その他、特殊救難隊等にて対応

(4) 防衛省

- 約106,450名の派遣規模（これまでの最大派遣規模、約107,000名）
- ア 陸上自衛隊 約70,000名
- イ 海上自衛隊 約14,400名
- ウ 航空自衛隊 約21,600名
- エ 原子力災害派遣部隊 約450名

(5) 厚生労働省

- ア 医師等の派遣 137チーム
- イ 保健師派遣 133チーム

7 海外支援の受け入れ状況

(1) 在日米軍による協力

- ア 空母・艦船 約20隻
- イ 航空機 約160機
- ウ 人員 約20,000名以上

(2) 外国による支援

- ア 海外支援 134ヶ国・地域及び39国際機関が支援を表明
- イ 援助隊 24ヶ国・地域・国際機関から受入れ（現在3ヶ国が活動中）
- ウ 援助物資 43ヶ国・地域・国際機関から受入れ